



散策会の様子。定期的に開かれているが、毎回、参加しても新しい発見がある。

サークル  
紹介

# Circle

身近な自然の  
新たな一面に気づかせてくれる

## NPO法人 ふれあいの森自然学校

### メンバーは 「ふれあいの森案内人」 として活躍

岐阜には植物や昆虫、動物など、多様ないきものが棲む森や里山がいくつもあります。中でも、岐阜市のながら川ふれあいの森や岐阜市畜産センター公園、関市の岐阜県百年公園などは公園として整備されており、誰もが気軽に訪れることができる森が広がっています。NPO法人 ふれあいの森自然学校はこれらの場所をフィールドに、森が大好きな仲間が集まり、自然の魅力を知り、伝える活動をしています。

立ち上げのきっかけは、ながら川ふれあいの森で開催された「自然案内人養成講座」の卒業生が集まったことから。平成22年に活動がスタートしました。

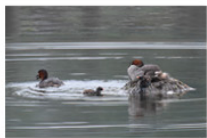
活動の主体となっている、定期開催の散策会はふれあいの森案内人と一緒に一般の参加者が森の中



←冗談も交えながら案内人の楽しい解説で、森のいきものについて知ることができ。



→リピーターも多い散策会。時には参加者からの質問にも答えながら、有意義な時間となっている。



←関市中池公園で撮影されたカイツブリの親子。散策会や講座では、貴重な姿が見られるチャンスもある。(中山さん撮影)

#### NPO法人 ふれあいの森自然学校

##### 《散策会》

- ・ながら川ふれあいの森散策会
- 第4水曜日開催(7・8・9・12・1月は休み)
- 保険代100円/小学生以上
- 集合四季の森センター
- ・百年公園ワンコイン散策会
- 第2水曜日開催(1・8月は休み)
- 参加費500円(保険代含む)/中学生以上
- 集合レストハウス

- 9月13日/百年公園「うそでしようもう秋」
- 10月11日/百年公園「見よう・実よう」
- 10月12日
- 椿洞畜産センター公園「Look・ルック・実」
- 集合ピシターハウス
- 10月25日
- ながら川ふれあいの森
- 「里山の秋を楽しもう」
- ※時間は全て10時~12時、予約不要、現地集合。前日の17時発表177で降水確率30%以上は中止です。お確かめください。

その他、10月28日メモリアルセンター散策「きになる木」(要予約)、11月7日各務原ライフデザイン講座「鎧秋の森ハイキング」(要予約、雨天の場合予備日11月10日)などがあります。

問/Tel.090-2685-8856(代表:中山)  
http://www.gifu-fureainomori.com

を散策し、さまざまな発見や感動と出会う講座です。普段、何気なく歩いている散策道も視点を変えて歩けば、森の新しい一面が見えてくることを案内人が教えてくれます。例えば、足元に小さな花が咲いていた、木の葉の裏に虫こぶがあつたり。小さな命も季節を感じながら生きていくことを改めて感じることが出来ます。

ほかにも連続講座を開講したり、出前講座や特別講座でネイチャーゲームをレクチャーするなど、各種団体からの依頼にも応じています。今年「美濃まるかじり講座」として、美濃地方の自然や歴史を訪ねながら、軽ハイキングや物作りをするなど、バラエティに富んだ講座も開催しています。

### 毎日変わる自然の魅力 伝えていきます

散策会は毎回、テーマを変えて行い、季節に合わせた楽しみ方ができるように、工夫されています。

同じ場所でも1ヶ月経てば自然の様子は変わります。案内人は散策会や講座開催の前に紹介するポイントをチェックし、「今」の「そこにある」自然を紹介しています。

「どの講座も、ごく普通のありふれたものの観察です。しかし、参加者一同、今まで身近な自然を見ていたようで視ていなかった、とご意見を多数いただきました。講座に参加していただければ、きっと新たな発見があり、感性が研ぎ澄まされること請け合いです。さあ未知への新しい一歩を踏み出してください」と、代表の中山久仁夫さん。

案内人は参加者に問いかけをするなどして、楽しく散策ができるよう心がけているとのことですが、自然の魅力を知ることが出来るのはもちろん、それぞれの案内人の個性が光る紹介の仕方にも注目できます。